

一般社団法人山口県社会福祉士会主催 講演会 報告書

日 時：平成 29 年 3 月 25 日（土） 10 時 30 分から 12 時 20 分

会 場：山口県セミナーパーク大研修室

テ ー マ：「地域づくりに専門職は必要？～「幸せ」は誰が決めるのか～

参 加 者：77 名

報 告 者：権利擁護センターぱあとなあ山口運営委員会 副委員長 上野和禎

報告作成日：平成 29 年 3 月 27 日

（本文）

「地域づくりに専門職は必要？」というテーマは、我々専門職に取っては、少々過激なテーマだったかもしれません。しかしながら、柚洞先生の話は、少なくとも、地域づくりをしていく上で、専門職が目立ってはいけないということを教えていただいたのではないのでしょうか。「生活空間を共有する長屋に住む文化」「赤ちゃんを抱くことが役割の盲目の老父」「店の空間に境界線がない屋台の喫茶店」「亡くなった隣人の老父を見送る子ども」、講師の学生時代や海外での体験、そして、現在住んでいる地域での近隣住民との関係を通して体験した話は、最近、我々が忘れかけていた、人と人とのつながりの大切さを思い出すことができるものでした。専門職である前に、ひとりの地域に住む者として、“何かしなければいけない”“できることをやっつけていこう”と思える時間でした。地域づくりに専門職っていらないのかもしれないかもしれません。

